

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	宮前区第1グループ(宮崎・有馬・野川)	評価対象年度	平成25年度
事業者名	・事業者名 公益財団法人かわさき市民活動センター ・代表者名 理事長 小倉 敬子 ・住所 川崎市中原区新丸子東3丁目1100番地12	評価者	こども支援室長
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日	所管課	宮前区こども支援室

2. 事業実績

利用実績	1 宮崎こども文化センター ①年間延べ利用者数	37,904人	②年間延べ利用団体数	1,075団体
	2 宮崎小学校わくわくプラザ ①登録者数	497人	②年間延べ利用者数	23,596人
	3 宮崎台小学校わくわくプラザ ①登録者数	345人	②年間延べ利用者数	14,285人
	1 有馬こども文化センター ①年間延べ利用者数	25,115人	②年間延べ利用団体数	471団体
利用実績	2 西有馬小学校わくわくプラザ ①登録者数	395人	②年間延べ利用者数	17,657人
	3 有馬小学校わくわくプラザ ①登録者数	174人	②年間延べ利用者数	9,127人
	4 鷺沼小学校わくわくプラザ ①登録者数	334人	②年間延べ利用者数	16,188人
	1 野川こども文化センター ①年間延べ利用者数	46,944人	②年間延べ利用団体数	531団体
利用実績	2 西野川小学校わくわくプラザ ①登録者数	192人	②年間延べ利用者数	6,746人
	3 野川小学校わくわくプラザ ①登録者数	244人	②年間延べ利用者数	12,403人
	4 南野川小学校わくわくプラザ ①登録者数	231人	②年間延べ利用者数	11,713人
	収支実績	単位:円		
1 収入 指定管理料		177,505,688		
2 支出 人件費		158,258,138		
事務費		5,797,424		
事業費	16,531,704			
その他	5,360,484			
合計	185,947,750			
3 差引	-8,442,062			
サービス向上の取組	利用者が安全・安心に、また楽しく過ごせる居場所を確保し、豊かな人間性・社会性を育むことのできる環境を積極的に提供して、利用者の目線に立ったサービスを提供している。			

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
事業の推進	事業推進 及び 事業成果	順調に事業の推進が図られているか	10	4	8
		事業計画に基づき、こども文化センター事業とわくわくプラザ事業を着実に実施したか			
		こども文化センターの利用者数に増加傾向が見られるか			
		わくわくプラザにおいて、適切に児童を受け入れているか			
(評価の理由) 地域の枠を超えて豊かな経験ができる場として「宮前区6館合同朗読劇鑑賞会」、「財団全館10周年記念フェスタ・BUNBUNステージ」、「マンカラ大会・子どもサミット」、「宮前区6館合同行事ドッチビーみやリンピック☆スペシャルミート☆」などの行事を実施したほか、地域の関係諸機関、中野有馬保育園、西有馬保育園との連携による「ちびっこランド」、県立北高校と「ウィンターコンサート」、南野川小学校スクールバンドや野川太鼓の祭りに参加するなど多岐にわたる行事を実施しており、その結果、こども文化センター利用者数はグループ全体で昨年度比13パーセント増加している。					
収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続 効率的・効果的な支出	適切な会計処理及び金銭管理をしているか	5	3	3
		計画に基づき適切な支出をしているか	5	3	3
		効率的な執行等、経費縮減に具体的に取組んでいるか			
		サービスの水準を確保しているか			
	支出に見合う効果が得られているか				
(評価の理由) 会計処理及び金銭管理について適切に行われている。全20グループ53施設を管理している運営法人のスケールメリットを生かし、一元的な臨時職員の雇用・管理、警備等業務委託の一括契約、消耗品・備品の一括購入等の取組みによる経費削減を図るとともに、その剰余金を児童用図書、遊具、遮光・防炎カーテン、飛散防止フィルム等の備品購入や施設の整備・修繕による環境整備に充て、利用者還元している。					

サービス向上及び業務改善	施設・事業の広報	施設や事業の周知に積極的に取り組んでいるか	5	3	3
	利用者への対応	利用者に対するサービスが適切にされているか	5	3	3
		特別な配慮を要する利用者への対応が適切にされているか			
	運営協議会の実施	こども文化センター運営協議会を実施しているか	5	3	3
	保護者懇談会の実施	わくわくプラザ保護者懇談会を実施しているか	5	3	3
	学校及び行政機関との連携	事業実施に当たり学校、行政及び地域等と連携しているか	10	4	8
利用者ニーズ	利用者ニーズを把握し、事業運営に反映させているか	10	4	8	
(評価の理由) たよりを当該小・中学校に配布するとともに、行事のポスターを近隣のマンション等に掲示したところ、問い合わせが増え、転入者への周知と利用促進につながった。幼児に向けたよりを発効するとともに、乳幼児親子に直接声かけをし、行事の案内を実施したところ、乳幼児親子の利用が13%増加した。 毎月行われる子ども運営会議が定着し、意見や要望が活発に上がっている。その結果、アイデアの幅が広がり、バラエティに富んだ行事の実施につながっている。					
組織管理体制	適正な人員配置	児童福祉施設最低基準第38条の規定に従い職員を配置しているか	10	3	6
		こども文化センター及びわくわくプラザの施設管理と事業運営のために、指定管理仕様書において定める職員配置の最低基準どおりに人員を配置しているか			
		川崎市公契約条例を遵守しているか			
	職員の研修体制	職員のスキルアップに必要な研修を実施したか(外部研修の受講を含む)	10	3	6
個人情報等の取扱	個人情報保護に関する規定や体制を整備し、適正に取り組んでいるか	5	3	3	
(評価の理由) こども文化センターでは、常時2名以上のスタッフを配置することにより、緊急時や利用者の増加等に対して柔軟な対応ができる体制が確保されている。原則として同じ担当職員が一貫して子どもの対応に従事することによって、対応の継続性の確保と、子どもや保護者との信頼関係を構築している。全市の研修や外部研修に積極的に参加したことで、職場で必要とされる専門知識を得ることにより資質向上が見られる。個人情報漏洩等はない。					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障を来すことのないよう、施設・設備の保守点検や整備、備品管理等を適切に実施しているか	5	3	3
		利用者の安全確保	利用者の安全を確保する体制(マニュアル等)を整備しているか	5	3
	事故等が発生した場合に適切な対応をしているか				
	感染症予防対策や発生時において、適切な対応をしているか	5	4	4	
	防犯対策及び災害時の対応	施設の防犯のための工夫をしているか	5	4	4
		災害発生時に備え、マニュアル等を整備しているか			
災害発生時に確実な対応・行動を取るための取組をしているか					
(評価の理由) 事故防止については、館の職員会議、スタッフ会議時に日常の子どもたちの安全に関する情報を共有することにより、昨年度に比べ事故件数が54%減少している。 災害避難訓練用具一式の保管場所を設け、児童の安全確保を図っている。パトロール等の防犯活動に積極的に参加し、地域と一体となって職員の防犯意識を高めている。毎日の清掃と安全確認の徹底、乳幼児ルームの遊具及びジョイントマットの消毒を徹底したことで、利用者から信頼を得ている。その結果、利用者の衛生管理意識も高まり、感染症防止につながっている。 各施設、避難経路や危険度が高い窓を優先に飛散防止フィルムを設置し施設の安全性を高めた。さらに全施設に非常食・保存水を追加で配備、新たにアレルギー児対応保存食を備蓄する等災害への備えも強化した。					

4. 総合評価

評価点合計	67	評価ランク	C
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

幼児グループの支援、中学生・高校生の居場所作りや地域性あふれる魅力ある事業に取り組むことにより、こども文化センターが市民活動の拠点として機能し、地域と一体になった活動や地域の子どもと大人が交流できる場の提供となり、こども文化センターが目指す、共に育ち学ぶことのできる地域社会の活性化につながっている。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

今後とも、こども文化センター及びわくわくプラザにおいて利用者の立場で環境を整備し、各施設の地域性や特性を活かした事業を展開することを期待する。

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	宮前区第2グループ(宮前平・平・白幡台)	評価対象年度	平成25年度
事業者名	・事業者名 公益財団法人かわさき市民活動センター ・代表者名 理事長 小倉 敬子 ・住所 川崎市中原区新丸子東3丁目1100番地12	評価者	こども支援室長
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日	所管課	宮前区こども支援室

2. 事業実績

利用実績	<p>1 宮前平こども文化センター ①年間延べ利用者数 31,813人 ②年間延べ利用団体数 694団体</p> <p>2 富士見台小学校わくわくプラザ ①登録者数 439人 ②年間延べ利用者数 19,558人</p> <p>3 宮前平小学校わくわくプラザ ①登録者数 231人 ②年間延べ利用者数 11,941人</p> <p>4 土橋小学校わくわくプラザ ①登録者数 444人 ②年間延べ利用者数 19,256人</p> <p>1 平こども文化センター ①年間延べ利用者数 27,646人 ②年間延べ利用団体数 344団体</p> <p>2 向丘小学校わくわくプラザ ①登録者数 296人 ②年間延べ利用者数 16,541人</p> <p>1 白幡台こども文化センター ①年間延べ利用者数 20,504人 ②年間延べ利用団体数 392団体</p> <p>2 白幡台小学校わくわくプラザ ①登録者数 185人 ②年間延べ利用者数 9,482人</p> <p>3 平小学校わくわくプラザ ①登録者数 232人 ②年間延べ利用者数 9,777人</p>
収支実績	<p>単位:円</p> <p>1 収入 指定管理料 161,054,181</p> <p>2 支出 人件費 133,185,444 事務費 5,232,891 事業費 12,207,291 その他 4,203,069 合計 154,828,695</p> <p>3 差引 6,225,486</p>
サービス向上の取組	子どもたちや利用者からの意見や要望を取り入れて行事に取り組んだことが、行事参加者の増加につながっている。ルールの見直しについて意見があった際には改善策を共に考え、試行することで理解を得ている。

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
事業の推進	事業推進 及び 事業成果	順調に事業の推進が図られているか	10	4	8
		事業計画に基づき、こども文化センター事業とわくわくプラザ事業を着実に実施したか			
		こども文化センターの利用者数に増加傾向が見られるか			
		わくわくプラザにおいて、適切に児童を受け入れているか			
(評価の理由) 各施設、グループ事業とも「交流」と「体験」を柱に事業の展開を図っている。子どもたちが「交流」、「体験」を実感できる行事として、「野外活動」、「けん玉交流会」、「音楽会」、「マジックショー」など各施設の状況に合わせて実施し、子どもの情操を豊かにすることにつながっている。「こども文化センターまつり」、「もちつき」などでは運営協議会を中心に昨今の課題である食物アレルギーに関して共に対応や配慮について考え、地域全体で子どもたちを取り巻く環境に合わせた事業展開をしていくことの大切さを共に学ぶ場となっている。					
収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	適切な会計処理及び金銭管理をしているか	5	3	3
	効率的・効果的な支出	計画に基づき適切な支出をしているか	5	3	3
		効率的な執行等、経費縮減に具体的に取組んでいるか			
		サービスの水準を確保しているか			
支出に見合う効果が得られているか					
(評価の理由) 会計処理及び金銭管理について適切に行われている。全20グループ53施設を管理している運営法人のスケールメリットを生かし、一元的な臨時職員の雇用・管理、警備等業務委託の一括契約、消耗品・備品の一括購入等の取組みによる経費削減を図るとともに、その剰余金を児童用図書、遊具、遮光・防災カーテン、飛散防止フィルム等の備品購入や施設の整備・修繕による環境整備に充て、利用者へ還元している。					

サービス向上及び業務改善	施設・事業の広報	施設や事業の周知に積極的に取り組んでいるか	5	3	3
	利用者への対応	利用者に対するサービスが適切にされているか	5	3	3
		特別な配慮を要する利用者への対応が適切にされているか			
	運営協議会の実施	子ども文化センター運営協議会を実施しているか	5	3	3
	保護者懇談会の実施	わくわくプラザ保護者懇談会を実施しているか	5	3	3
	学校及び行政機関との連携	事業実施に当たり学校、行政及び地域等と連携しているか	10	4	8
	利用者ニーズ	利用者ニーズを把握し、事業運営に反映させているか	10	4	8
<p>(評価の理由) 広報誌やホームページを通して、子ども文化センターの行事などを広範囲に広報している。ホームページで情報を得た方の問い合わせや、幼児サークルの問い合わせが年々増加の傾向にある。関心を持ってもらったことが、子ども文化センターの利用増加につながっている。運営協議会や子ども運営会議の等の意見を積極的に取り入れたことによって、地域住民や関係機関と連携を深めながら事業を実施している。乳幼児親子の活動の場として、小学生の自己表現の場として、中高生の学びと息抜きの場として地域住民の活動の場として、公平で分かりやすい広報を行っている。新しい児童書や乳幼児向けの絵本を定期的に揃えることも来館者の増加につながっている。</p>					
組織管理体制	適正な人員配置	児童福祉施設最低基準第38条の規定に従い職員を配置しているか	10	3	6
		子ども文化センター及びわくわくプラザの施設管理と事業運営のために、指定管理仕様書において定める職員配置の最低基準どおりに人員を配置しているか			
		川崎市公契約条例を遵守しているか			
	職員の研修体制	職員のスキルアップに必要な研修を実施したか(外部研修の受講を含む)	10	3	6
個人情報等の取扱	個人情報保護に関する規定や体制を整備し、適正に取り組んでいるか	5	3	3	
<p>(評価の理由) 子ども文化センターでは、常時2名以上のスタッフを配置することにより、緊急時や利用者の増加等に対して柔軟な対応ができる体制が確保されている。原則として同じ担当職員が一貫して子どもの対応に従事することによって、対応の継続性の確保と、子どもや保護者との信頼関係を構築している。全市の研修や外部研修に積極的に参加したことで、職場で必要とされる専門知識を得ることにより資質向上が見られる。個人情報漏洩等はない。</p>					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障を来すことのないよう、施設・設備の保守点検や整備、備品管理等を適切に実施しているか	5	3	3
	利用者の安全確保	利用者の安全を確保する体制(マニュアル等)を整備しているか	5	3	3
		事故等が発生した場合に適切な対応をしているか			
		感染症予防対策や発生時において、適切な対応をしているか			
	防犯対策及び災害時の対応	施設の防犯のための工夫をしているか	5	4	4
災害発生時に備え、マニュアル等を整備しているか					
災害発生時に確実な対応・行動を取るための取組をしているか					
<p>(評価の理由) 事故防止について日常的に施設内点検や安全整備を実施し、必要に応じて迅速な修繕を行っている。災害時対応マニュアルを作成し、学校と災害時の対応について話し合ったことで互いの対応への理解を深めている。毎月の事故事例を基に各施設で事例検討し、安全対策を見直し、事故数の減少につなげている。また、「入館状況調査票」の記入が利用者に浸透し、館内の状況を適切に把握できている。空気清浄機の活用や遊具の衛生管理を徹底することで、清潔な施設を維持している。各施設、避難経路や危険度が高い窓を優先に飛散防止フィルムを設置し施設の安全性を高めた。さらに全施設に非常食・保存水を追加で配備、新たにアレルギー児対応保存食を備蓄する等災害への備えも強化した。</p>					

4. 総合評価

評価点合計	67	評価ランク	C
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

一人ひとりの子どもの人権を尊重し、子どもたちの健全な遊びを通して、健康を増進し情操を豊かにする役割を十分担っている。子どもたちも積極的に意見を言い、行事にも積極的に関わっている。各事業を継続的に行うことにより、関係機関との連携が深まっており、子ども文化センターが地域における児童の健全育成の拠点となり、地域社会の活性化に寄与している。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

今後とも、子ども文化センター及びわくわくプラザにおいて利用者の立場で環境を整備し、各施設の地域性や特性を活かした事業を展開することを期待する。